

総合原価計算 第18問 問題

当社では、製品を連続生産しており、単純総合原価計算を行っている。次の資料にもとづいて、以下の問に答えなさい。なお、減損の計算方法は、度外視法を採用している。また、完成品単位原価の計算において端数が生じた場合は、小数点以下第2位で四捨五入しなさい。

(資料) ① 当月生産データ

月初仕掛品	1,200 kg (50%)
当月投入	<u>14,400</u>
合計	<u>15,600</u> kg
月末仕掛品	1,800 kg (70%)
正常減損	600
完成品	<u>13,200</u>
合計	<u>15,600</u> kg

(注1) 原料はすべて工程の始点で投入される。

(注2) ()内の数値は加工進捗度を示している。

(注3) 正常減損は工程の20%地点で発生している。

② 月初仕掛品原価、当月製造費用

	月初仕掛品原価	当月製造費用
原料費	344,400 円	3,960,600 円
加工費	<u>410,028</u>	<u>9,538,452</u>
合計	<u>754,428</u> 円	<u>13,499,052</u> 円

問1 平均法を用いて月末仕掛品原価と完成品総合原価を計算し、完成品単位原価を求めなさい。

問2 先入先出法を用いて月末仕掛品原価と完成品総合原価を計算し、完成品単位原価を求めなさい。

	問1	問2
月末仕掛品原価	円	円
完成品総合原価	円	円
完成品単位原価	円/kg	円/kg

総合原価計算 第18問 模範解答

	問 1	問 2
月末仕掛品原価	1,383,480 円	1,383,732 円
完成品総合原価	12,870,000 円	12,869,748 円
完成品単位原価	975 円/kg	975.0 円/kg

【解説】

生産データ				
1,200	600	13,200	13,200	加工換算量 ; 月初仕掛品 1,200kg × 50% = 600kg 月末仕掛品 1,800kg × 70% = 1,260kg 正常減損 600kg × 20% = 120kg
		600	120 (0.2)	
14,400	13,980	1,800	1,260 (0.7)	

問 1

総合原価計算表					
(平均法)	数量	原料費	加工換算量	加工費	合 計
月初仕掛品	1,200	344,400	600	410,028	754,428
当月投入	14,400	3,960,600	13,980	9,538,452	13,499,052
合 計	15,600	4,305,000	14,580	9,948,480	14,253,480
正常減損	600	—	120	—	—
差 引	15,000	4,305,000	14,460	9,948,480	14,253,480
月末仕掛品	1,800	516,600	1,260	866,880	1,383,480
完 成 品	13,200	3,788,400	13,200	9,081,600	12,870,000

完成品単位原価 ; 12,870,000円 ÷ 13,200kg = 975円/kg

問 2

総合原価計算表					
(先入先出法)	数量	原料費	加工換算量	加工費	合 計
当月投入	14,400	3,960,600	13,980	9,538,452	13,499,052
正常減損	600	—	120	—	—
差 引	13,800	3,960,600	13,860	9,538,452	13,499,052
月末仕掛品	1,800	516,600	1,260	867,132	1,383,732
差 引	12,000	3,444,000	12,600	8,671,320	12,115,320
月初仕掛品	1,200	344,400	600	410,028	754,428
完 成 品	13,200	3,788,400	13,200	9,081,348	12,869,748

完成品単位原価 ; 12,869,748円 ÷ 13,200kg = 975.0円/kg